

第26章 地域編②：中部

1. 地域概要

(1) 概要

①中部地方のタイにおける経済的地位

バンコク首都圏の北部に位置し、6 県で構成される。中部の名目 GDP（2020 年）は 8,434 億バーツで、その半分近くをアユタヤ県（プラナコンシーアユタヤ）が占め、次いでサラブリー県となっている。これらアユタヤ県、サラブリー県では、製造業が集積している点特徴的である。

図表 26-1 タイ中部地方の位置



中部地方		
38	チャイナート	Chai Nat
39	シンブリー	Singburi
40	ロップリー	Lop Buri
41	サラブリー	Saraburi
42	アーントーン	Ang Tong
44	プラナコンシーアユタヤ	Phra Nakhon Sri Ayuthaya

図表 26-2 中部地方概要

No	県名	(英語名)	名目GDP [2020年] (100万バーツ)	人口 [2020年] (1,000人)	1人あたりGDP [2020年] (バーツ)
	中部地方	Central	843,469	3,174	265,743
44	プラナコンシーアユタヤ	Phra Nakhon Sri Ayuthaya (PA)	398,161	912	436,363
41	サラブリー	Saraburi	245,042	762	321,625
40	ロップリー	Lop Buri	106,171	775	137,004
38	チャイナート	Chai Nat	36,049	291	123,905
42	アーントーン	Ang Tong	31,657	247	127,940
39	シンブリー	Singburi	26,389	187	140,890

(出所) National Economic and Social Development Board より作成

②工業団地・日本企業進出動向

アユタヤ県とサラブリー県を中心に、中部地方には工業団地が多い。中でも、日鉄物産（2019年4月1日、日鉄住金物産より商号変更）とタイのヴィニチュブル財閥との合弁会社がアユタヤ県で運営するロジャナ工業団地（1989年設立）は総開発面積が2,400ヘクタールと規模が大きく、ホンダ（四輪車工場）をはじめ、約150社の日本企業が進出している。業種別では、自動車部品や電気・電子部品の企業が多く、大手メーカーとそのサプライヤーが集積している。

アユタヤ県のほかには、サラブリー県とシンブリー県で工業団地が稼働しており、日本企業も進出している。



ロジャナ工業団地の看板

(2) 進出日系企業からみた事業・生活環境やコスト

① インフラ・物流

【道路】

道路は整備されている。アユタヤはバンコクから近いため、バンコクからの通勤者が多く、2016年の調査時点では通勤時間帯、特に夕方に渋滞が発生していた。しかし、道路の整備が進み、現在、渋滞は大きく緩和されている。時間帯にもよるが、バンコク中心部からアユタヤのロジャナ工業団地までの所要時間は車で70～90分程度である。

【電力】

PEA（地方配電公社）から供給を受けるケースと工業団地から供給されるケースがある。前者の場合、瞬間停電が発生する。後者の場合は、工業団地により違いはあるが、ロジャナ工業団地の例ではほぼ停電はなく、電圧も安定しているとのことであった。

【通信】

電話は整備されており、特段の問題は聞こえなかった。一部では、インターネット環境は回線速度、安定性で問題を指摘する声もある。

② 労働事情

【人材】

過去の現地調査では、大規模工場で多くのワーカーを必要とする会社の場合は寮を用意し、タイ人の採用担当者が東北部で高校卒業生を採用している例もあった。また、インターンシップを活用して採用につなげる例や、東北部の学校からトレーニーとしてワーカーを受け入れる例もあった。

一方、スタッフの場合はバンコク居住者を直接採用するケースや、人材派遣会社を通じて採用するケースが主な人員確保手段となっている。ただし、人材派遣会社の場合は、必ずしも求めるレベルの人材が紹介されないとの指摘もあった。

【賃金】

2022年10月に最低賃金（日額）が改訂されている。

図表 26-3 中部地方の県別最低賃金

県名	最低賃金（日額、バーツ）
アユタヤ	343 バーツ
ロブリー、サラブリー	340 バーツ
チャイナート、アーントーン	335 バーツ
シンブリー	332 バーツ

（出所）JETRO 資料より作成

③生活環境

家族帯同者、特に小学生の子女帯同の場合は、バンコク市内の日本人学校への通学のためバンコクに居住するケースが多いようである。アユタヤにサービスアパートが増え、住環境が改善されており、単身者を中心にアユタヤに居住する例も多い。住居費はバンコクと比較して割安となっている。

アユタヤにもスーパーマーケットやハイパーマーケットがあるため、基本的に食材の調達には問題はない。また、バンコクから車で1時間から1時間半の距離にあることから、医療や日本食品もバンコクでの利用が可能である。



アユタヤの遺跡

2. 主要工業団地

No.	工業団地名	所在地	総開発面積
1	Bang Pa-In Industrial Estate	139 Moo 2 Udomsorayuth Rd., Klong-Jig, Bang Pa-In, Ayutthaya 13160	268 ha
2	Rojana Industrial Park, Ayutthaya	1 Moo 5 Rojana Rd., Kanharm, U-Thai, Ayutthaya 13210	2,464 ha
3	Nakhon Luang Industrial Estate	103 Moo 4 Bang Prakru, Nakhon Luang, Ayutthaya 13260	461 ha
4	WHA Saraburi Industrial Land (WHA SIL)	111 Moo 7 Nong Pla Kead Rd., Nong Khae, Saraburi 18140	440 ha
5	Kaeng Khoi Industrial Estate	134 Moo 1 Adireksarn Rd., Banthad, Kaengkhoi, Saraburi 18100	92 ha
6	Nong Khae Industrial Estate	61 Moo 1 Khokyaе, Nong Khae, Saraburi 18230	327 ha
7	Indra Industrial Park	48 Moo 3 Namtan, Inburi, Singburi 16110	115 ha

(出所) BOI より作成